



未来に敏感、人が中心

商工会やまなし

SHOKOKAI-YAMANASHI

第246号
平成22年3月

年6回1・3・5・7・9・11月の
末日発行
定価120円
会員の購読料は会費に
含んでおります。

■発行所／山梨県商工会連合会 ■発行人／会長 竹井 清 八 ■住所／〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館3F
■TEL／(055) 235-2115 ■URL <http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>



青空と雪の残る山々をバックに咲き始めたスモモの花。もうすぐ「白いじゅうたん」があたりを埋め尽くす。



プロジェクトにより南アルプスフルーツ菓子研究会などが開発した「南アルプスの宝石」(上)「すもも便り」(中)。「すももドレッシング」(下)は女性部が開発

CONTENTS

- 2～3P… 平成 21 年度臨時総会開催
- 4P… 国の事業を活用し新商品開発にチャレンジ 市町村行政との連携強化を図る
- 5P… 農商工連携にビジネスの夢育む 県青連 農商工連携マッチングフェア！N山梨開催
- 6P… 商店街空き店舗調査実施結果 特産品販売コーナーをリニューアル
- 7P… 平成 22 年度各種検定事業のご案内 協会けんぽよりお知らせ 人のうごき
- 8P… 商工会なう 昭和町商工会

輝く 地域資源 青空と白のコントラストで春を演出 「スモモ」(南アルプス市商工会)

山梨は日本一のスモモの生産地。収穫高は国内の約3割以上を占める。南アルプス市はその中心地だ。南アルプス市商工会では地元の豊富なフルーツをプロデュースし、地域の活性化をめざす「南アルプス桃源郷フルーツプロジェクト」を展開中。この活動も全国的に高い評価を受けている。もちろん「スモモ」はプロジェクトにかかせないフルーツだ。プロジェクトでは、フルーツに特化した体験型探訪の展開や、優れた栽培農家の認定事業など、幅広い事業を実施している。また商工会が開発した「スモモのピューレ」を地元のお菓子屋さんなどに提供、地域ブランドとして質の高い特産品の開発なども支援している。

「商工会は行きます 聞きます 提案します」 平成二十二年度事業決定

商工会連合会の臨時総会が開催され、平成二十二年度の事業計画等を決定した。危機的な経済状況が長期化する中において、商工会法施行五十周年の節目となる次年度は、商工会の原点に立ち返り、会員企業の成長のための経営支援、地域経済活性化に貢献できる活動を重点的に展開する。

平成二十一年度臨時総会が三月三十日に開催された。長引く景気低迷、後継者不足や大型店の進出等で廃業を余儀なくされる企業が後を絶たない状況のなか、この難局の此时此刻商工会はその真価を問われているとの認識のもと、全商工会で統一キャッチフレーズ「商工会は行きます聞きます提案します」を掲げて展開する会員満足向上運動を中心に、「会員から、地域から必要とされる商工会」であり続けるため、以下の六項目を重点事業として取り組んでいくことを決定した。

任に伴う役員補充選任が行われ、新たに花形俊雄氏が専務理事に就任した。

1. 会員満足向上運動の推進
 商工会は、活動の原点である「会員の事業経営の役に立つ」支援サービスを提供してはじめて、会員に満足してもらえらる。また、会員により構成される商工会は、様々な活動について会員の意見を広く聞き入れて、より多くの会員に理解、支持されるよう常に心を配り、会員満足の向上を図ることが必要。
 五十周年の節目の年を契機とし



新専務理事
花形俊雄氏

- て、商工会組織をあげて以下の「会員満足向上運動」を推進する。
- きめ細やかな経営支援サービスの提供
 - 会員ニーズの把握と施策への反映
 - 統一キャッチフレーズ「商工会は行きます聞きます提案します」を掲げた巡回訪問の推進・強化
- 2. 商工会組織運営基盤の強化**
 商工会の業務は広範にわたり、今後五年間で職員数が大幅に減少していく中で、商工会は会員の満足度を高める活動を展開して成果をあげなければならない。このため、効果的な支援実施体制の構築、計画的に組織運営を行う体制の整備等、商工会組織運営基盤の強化を図る。
- 経営支援体制の強化、適正配置、支援能力向上等、組織環境整備の検討
 - 効率的組織運営に向けた商工会マネジメントの定着推進
 - 職員の資質向上
 - 会員増強・組織率向上運動（メリットPRによる加入推進）
 - 財政力強化への取り組み（45%以上の自己財源確保）
- 3. 経営をサポートする制度としての共済事業の充実と推進**
 商工会の共済制度は、本来有利な条件で保障等が得られるとともに、経営のサポート機能も備える会員にとって有益な制度。この共済制度を「経営をサポートする度」

応援します、あなたの企業 山梨県信用保証協会

「景気対応緊急保証」

（取り扱い平成23年3月末まで）

売上の減少や収益が圧迫されている中小企業の皆様の資金繰りを、本制度でサポートします。（セーフティネット保証）

対象業種も拡大されました。（農林水産業、金融・保険業、公務、学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等は除く）

他の保証制度や保証協会について詳しくはホームページをご覧ください。

本店 甲府市飯田2-2-1（山梨県中小企業会館）
 TEL 055-235-9700 FAX 055-232-0160
 URL: <http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>
 E-mail: shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp
 富士吉田店 富士吉田市下吉田1832
 TEL 0555-22-0992 FAX 0555-22-0921



として再認識したうえで、会員事業所へ提案・推進を行うとともに、事業運営体制の見直しや、商品としての機能強化を検討し、『次の五十年』へ向けた共済制度の整備・充実に取り組む。

○新たな共済推進計画の実施（新たな三ヶ年計画の実施）

○商工会法施行五十周年記念キャンペーンの実施

○共済制度の募集に関する研修会等の実施

○共済制度の整備・充実に向けた検討と商工貯蓄共済新システムの構築

4. 会員企業の課題の抽出と経営力向上支援

会員にとって危機的な経済状況

平成22年度数値目標

1. 巡回訪問強化	会員事業所訪問率70%以上
2. 会員増強運動	当該年度に会員数純増1%増以上 又は組織率1ポイント増以上
3. 自己財源の確保	全収入に占める自己財源（補助金以外の収入）比率45%以上
4. 商工貯蓄共済	平成24年度までに保有口数を50,000口とすることを目標とし3ヶ年計画で商工会ごとの目標に取り組む
5. 全国商工会会員福祉共済	平成24年度までに会員数の10%の保有率（保有件数：1900件）とすることを目標とし3ヶ年計画で商工会ごとの目標に取り組む
6. ネットde記帳による経営改善の推進	ネットde記帳による記帳代行件数 記帳専任職員1名につき30件以上
7. 経営革新計画、新連携計画、農商工等連携、地域資源活用計画の認定に向けた支援及び経営改善計画策定支援	経営指導員1名につき 新規4件以上
8. 中小企業応援センターの活用	経営指導員1名あたり 専門家の派遣2企業以上
9. 会員事業PR支援ホームページシステ（SHIFT）の活用推進	経営指導員1名につき 2事業者以上を登録
10. 青年部・女性部の部員増強	前年度部員数3%以上の新規加入

が続くなか、本会では、商工会の経営指導員が経営者とともに、企業の持ち味や、改善、克服すべき課題に「気づき」、積極的に目標を持って経営の改善、革新に向けて取り組む活動を、二年間継続して重点的に支援している。

次年度も、会員企業の課題の抽出と経営力向上支援に向けて、次の主要事業を実施する。

○小規模事業者の経営改善計画の策定を支援

○企業の経営革新等に向けた取り組みへの支援

○創業・事業再生支援による事業機会の創出と確保

○事業承継に悩む企業への支援

○経営支援取り組み事例発表会の開催

○ネットde記帳（記帳機械化システム）による経営改善の推進

5. 地域資源の活用と連携による地域産業活性化

地域の強みを活かし、新たな付加価値を創造することで地域の活性化を図るため、「地域資源活用プログラム」や「農商工連携」等の支援策の活用を促し、特色ある新しい地域産業の形成を支援する。

また、販路開拓、取引拡大に向けて、様々なイベント、フェア等への出展幹旋や、情報提供、ビジネスマッチング事業等により、側面からの支援策を講じていく。

○地域資源活用・農商工連携セミナーの開催

安心を明日につなぐ

中小企業者のための
火災共済

3つの特色で皆様の企業を
パワフルにバックアップします。

- 安い掛け金
- 簡単な手続き
- 迅速な支払い

普通火災共済
総合火災共済
休業補償共済
生命傷害共済

山梨県火災共済協同組合

甲府市丸の内一丁目10番5号
山梨県社会福祉会館2階
☎(055)235-7564

○地域資源活用・農商工連携認定計画策定に向けた取り組み支援

○販路開拓への支援

6. 商工会法施行五十周年記念事業の実施

半世紀にわたり歴史を刻んできた商工会は、大きな節目を迎える今、組織の将来を見据えて環境変化への適応を図るための変革を必要としている。記念事業は、五十年の歴史と過去の業績を振り返り功績者を讃えるとともに、商工会の会員並びに役員が組織の将来を左右する重要な局面を迎えていることを認識し、行動を起こす決意を表明する機会として実施する。

○記念式典・記念大会の開催

○記念誌の編纂と発行

国の事業を活用し新たな商品づくりにチャレンジ
商工会関係の二事業が認定



関東経済産業局は、このほ
ど「地域産業資源活用事業計
画」として十五件の事業を認
定。県内からは、商工会が支
援する「生ゆばのレトルト製
品化事業」と「印傳に
よるオン
リーワン商
品の開発と
販売」の二
事業を含む
三事業が採

択された。
身延町商工会が計画づくり
をサポートしたゆば工房五大
による「生ゆばのレトルト製
品化事業」は、生ゆばの風味
を活かしたままレトルト加工
した「ゆば丼」を全国展開で
きる商品として熟成し、今後
三年間にわたり、業務用パツ
ク、ギフトセットなどを開発
して購買層を広げることが計
画したもので、「ゆば」目的の
新たな観光客の流入が期待で

き、関連企業はもとより地域
全体の活性化を目標としてい
る。
また、本会がサポートした
「印傳によるオンリーワン商品
の開発と販売」は県産鹿革や
角を再生させ、郡内織物や県
内宝飾貴石研磨技術による加
工品、国産漆等を新たに利活
用、新しく付加価値の高い甲
州印傳をブランド化し、従来
の製品にはない「楽器袋」と「ゴ
ルフ用品」の商品開発事業の展
開を図るもので、印傳の山本
と笛吹市の株TMDが事業に
参画している。

市町村行政と商工会の連携強化を図る

県連と商工会が共催で、市
町村長をはじめ行政幹部を迎
えて開催している懇談会が、
本年度の予定を終了した。

口湖、身延町、西桂町、上野
原市、昭和町の商工会で開催
した。

この懇談会は、市町村行政
の責務である地域の産業振興
に向けた施策と、その一端を
担う商工会の取り組みについ
て、それぞれの立場で理解を
深めること、意見交換をお
して両者の更なる連携強化を
図ることを目的に、一昨年度
から継続しているもの。本年
度は南都留中部、山梨市、河

意見交換では、行政から「新
道路開通後の活力あるまちづ
くりについて、商工会ととも
に考えていきたい」、商工会か
ら「産業活性化に向けた行政
施設の活用策について提案す
るので検討いただきたい」な
ど、建設的な意見が活発に交
わされた。
この他、商工会から行政に
対して「中小企業振興条例」



膝を交えての懇談会で、活発に意見が交
わされる

の制定等、中小・小規模事業
対策の強化について申し入れ
を行った。

団体割引率がアップ (15%→20%)

安い掛金で大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえ万全の事故処理体制をとっています。
万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル 電話055 (237) 8331(代)

農商工連携にビジネスの夢育む

山梨県商工会青年部連合会

本年度、青年部連合会では、経済振興策の一つとして注目されている「農商工連携」により、ビジネスチャンスを見出し、「農商工連携」として二つの事業に取り組んだ。具体的な事例や、埋もれている農商工連携の芽を探し出して、ビジネスにまでに発展させるまでの企画力やコーディネート力を養い、人材を育成することが主な事業の目的である。

こうとする「学習型事業」、もう一つは県産材を利用して、食育も取り入れた安心安全な子供用遊具の試作など具体的なプランを実際に進めながら人材育成を図るという「実践型事業」である。

まず、「学習型事業」では県内の各ブロックで、「農商工連携とは何か」を学び、身近な事例「素材」をどうしたら農商工連携につなぐことができるともそのとらえ方は受講者それぞれで異なったが、実例を参考に、「桑の木」「巨峰パウダー」を素材に、創造力豊かなプランをつくりあげたグループが数々あった。

次に「実践型事業」では、山梨県の豊富な森林資材に着目し、安全な玩具づくりにチャレンジ、県産材（杉や檜の間伐材）を活用して、子供用の机や玩具を実際に試作した。



ドイツの玩具メーカーを視察する青年部員

また、試作した玩具について、「食育」という切り口で、販売を展開することなど、事業展開についても研究した後、こうした玩具の先進国で

農商工連携マッチングフェアIN山梨開催

～農林漁業者と商工業者の連携で新しい需要を掘り起せ～

二月十五日、ベルクラシック甲府において農商工連携マッチングフェアが開催された。

本フェアは、厳しい経済環境の中で、農林漁業者と商工業者が連携し、お互いの強みを活かすことで、新しい需要や新産業の創出を目指す企業を後押しすることを目的に開催されたもの。

当日は、関東経済産業局長など多くの来賓が訪れる中、基調

講演や先進事例の紹介が行われた後、農商工連携案件の6グループによるプレゼンテーションとグループ別に分かれて連携希望企業等と連携の方向性など活発に意見交換が行われた。

本会関係からは、野草のさと大月加工センター企業組合・(有)エルフィンインターナショナル・山梨市商工会特産品開発委員会・市川三郷町商工会の四グループが参加し、連携案件の発表を行った。



活発に意見交換する参加企業

商店街空き店舗調査実施結果 空き店舗率3.3%増加

本会では、山梨県の委託を受け「商店街空き店舗実態調査事業」を実施した。

調査では、県内を4つのエリアに分け、調査員が、予め各商工会の商業担当者に指定された範囲の商店街区の営業店舗を、業種毎にカウントしながら、同時に空き店舗をチエックした。

調査の結果、十九の商工会地域を調査。地域別にみると、空き店舗数が減少している地域もあるが、平成十六年に実

施した前回の調査に対し、空き店舗率は全体で3.3%増加、引き続き増加傾向にあるといえる。

空き店舗の問題は商店街にとって深刻な問題。県内の各地の商店街で空き店舗対策が求められる中で、韮崎市商工会では、貸出意向のある店舗の情報をインターネット上に掲載し、貸したい人借りたい人のマッチングに繋げ空き店舗対策を行っている。

今回の調査結果も各商工会

新しくなりました。

道の駅特産品販売コーナー

むらおこし事業等で開発された特産品の販路拡大を目的に、中央市『道の駅とよとみ』韮崎市『銀河の駅にらさき』へ設置している「商工会むらおこし特産品コーナー」をこのほどリニューアルした。

三月二十日〜二十八日には、リニューアルオープンセールを開催。大勢のお客様でにぎわった。



新しくなった特産品コーナー
皆さんお越し下さい



空き店舗の情報を提供している
韮崎市商工会のHP

ブロック名	商店数計	空き店舗数計	空き店舗率	H16 空き店舗率	増減
中北ブロック	3,865	442	11.4%	8.1%	3.3%
峡南ブロック	1,151	168	14.6%	9.7%	4.9%
峡東ブロック	1,606	152	9.5%	4.0%	5.5%
富士東部ブロック	1,763	116	6.6%	7.0%	-0.4%
合計	8,385	878	10.5%	7.2%	3.3%

において、担当職員が閲覧できるの、創業や新規出店計画等を計画している方には、商工会窓口で相談が出来る。

ビジネスシーンに e コンプラス⁺



肉体派SEが
あなたの会社をお助けします。



ソフトウェア開発/販売/ネットワーク/教育

株式会社 Ysk e-com

www.ysk.co.jp

本社 〒400-8560 山梨県甲府市湯田1-13-2 tel.055-236-1111 fax.055-236-1166
Do-KASUGA 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-20-18 tel.055-236-1111 fax.055-208-1122
支店 〒105-0021 東京都港区東新橋2-9-2 7階 tel.03-5401-1022 fax.03-5401-1060

協会けんぽよりお知らせ

平成22年度の保険料率が変わります

本年3月分の保険料（4月納付分）から健康保険料率を大幅に引き上げることとなりました。加入者の皆様の医療と健康と生活を支えるため、事業主・加入者の方々には、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

山梨支部の健康保険料率

健康保険料率

8.17% ⇒ 9.31%

介護保険料率

1.19% ⇒ 1.50%

※ 40歳～64歳の方は健康保険料率と介護保険料率、合計で「10.81%」になります。

全国健康保険協会（協会けんぽ）山梨支部 TEL055-220-7750

平成22年度 各種検定試験のご案内

実施期日等

Table with columns: 回数, 申込受付開始日, 応募締切日, 試験日, 備考. Rows include 販売士検定, 簿記検定, 全国商工会珠算検定, 山梨県商工会珠算検定, 山梨県商工会暗算検定.



市川三郷町 中込 円
菅吹市 深澤かえで
北杜市 秋山 奈緒
南アルプス市 野呂瀬千草
南アルプス市 鎌田あゆみ
上野原市 鈴木 良子
菅吹市 望月 志保
山梨市 鈴木 瑞穂
富士川町 秋山 茂樹
中央市 名取 久
北杜市 井出 一司
大月市 加藤 敏安

【採用】(四月一日付け)

商工会人事 (四月一日) 人のうつき (順不同)

【人事交流】(四月一日付け)
都留市 在原 康充(河口湖)
山梨市 植松 克年(身延町)
大月市 森屋 直裕(上野原市)
北杜市 望月 信幸(北杜市)
北杜市 繁樹(連合会)
北杜市 美秀(山梨市)
甲斐市 光一郎(山梨市)
菅吹市 河崎 稔(甲斐市)
上野原市 廣野 実(菅吹市)
上野原市 鈴木 浩史(都留市)
河口湖 赤池 真人(連合会)
連合会 梶原 崇照(大月市)
(記帳専任職員)
山梨市 村松 清美(増穂町)
南アルプス市 浅井 ゆかり(身延町)
菅吹市 岡本 京子(山梨市)
甲斐市 雨宮 千枝子(菅吹市)
身延町 木内 里奈(南部町)
南部町 大村 千春(市川三郷町)
【退職】(二月三十一日付け)
増穂町 記帳専任職員 藤本 久子
(三月三十一日付け)
大月市 事務局長 小笠原文幸
北杜市 事務局長 荒井 千明
中央市 事務局長 飯野 裕典
増穂町 事務局長 笹本 彰
都留市 経営指導員 岡部 義道
北杜市 経営指導員 井出 一司
上野原市 経営指導員 倉田 雅文
山梨市 補助員 松澤 節子
菅吹市 補助員 佐藤喜美子
上野原市 補助員 長田 秋子
南アルプス市 記帳専任職員 内田 孝子
南アルプス市 記帳専任職員 山下恵美子
北杜市 記帳専任職員 田中 浜代
菅吹市 記帳専任職員 須賀さちえ
山梨市 記帳専任職員 窪田 宜子

**商工会
なう
No.58
昭和町
商工会**

**一店逸品運動から経営革新
店同士の連携も芽生える**

昭和町は大型店の出店が相次ぐ県内有数の商業地域。来春にはイオンの大型SCもオープンする。個人の小売店などにとつてもまさに「激戦区」だ。

この昭和町にはいわゆる「商店街」はない。急速な町の発展とともに商工業者が流入を繰り返し、自然発生的に商業集積を形成してきたためだ。

そんな中であって、昭和町商工会の活動を通じ、経営者達に新しい関係が芽生え始めている。

きっかけとなったのは商工会が平成十九年度から展開している「一店逸品」運動。激しい競争に生き残るためには、個々の努力だけでは限界があると、各参加店の経営力の向上とともに、個店同士の連帯感を醸成していこうと始まった事業だ。初年度は三十七店舗が自慢の逸品を掲載したパンフレットを作成。町内はもとより近隣の市町村や、町内の工業団地へ配布。その結果、売り上げが三十%アップした事業所もあった。三年目の今年度は七十二店舗が参加している。逸品の選出には、専門家が経

営指導員と一緒に巡回。何度も訪問して、それぞれの個店の個性を見極めながら「逸品」を創りだした。

この逸品創出の作業は、自己の経営の見直しにもつながり、逸品運動の参加店からすでに「経営革新計画」の認定まで発展させた店もある。

そのうちの一家がとんかつ専門店「かつ扇」。逸品はもちろん手づくりの「こだわりとんかつ」だ。経営者の羽田満彦さんは、逸品とともに新しい「とんかつ店」の経営スタイルを考案。昨年八月に県から経営革新計画の承認を得た。

羽田さんもチャンスを求めて昭和町に出店した一人。一店逸品運動について「連携というほど大げさなものではないが、一店逸品の参加者同士が、お互いのお店を活用し合おうという『いい関係』ができてきている。」と語る。

近隣に立地した個店の集合体である「商店街」に対し、点在しても同じ志を持った個店の集合体を「商店連合」と呼ぶ。昭和町商工会の一店逸品運動はこの「商店連合」につながっている。

かいじ共済

災害保障特約付福社団体定期保険+見舞金・祝金制度
割安な掛金で幅広い保障
うれしい結婚、出産の祝金制度
 「かいじ共済」は商工会会員のためのお得な共済制度です。

オススメしています!

引受会社のアクサ生命保険の担当者がご説明にお伺いさせていただきます!!



昭和町商工会の一店逸品運動のパンフレット
手前が最新のもの

る。商工会としては、個々の経営力の強化が、地域商業の発展に結びつくと考え、この一店逸品運動を通じて、今後も各個店の状況に応じた様々な支援を続ける予定。
 商業激戦区の中で、経営者たちのチャレンジが今日も続いている。

山梨県商工会連合会共済制度・福祉制度の一環としてお届けする
 保険の世界ブランド。アクサがあなたをサポート。

新大型保障プラン

アクサのフィナンシャル・プロテクション

定期保険 + **普通傷害保険**

アクサ生命保険株式会社 redefining / standards
 アクサ損害保険株式会社 redefining / standards

世界トップクラスの保険・金融グループ、アクサで実現。
<http://www.axa.co.jp>

アクサ生命保険株式会社 甲府支社 〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館 TEL055-226-5075